

研究者リーダーシップ・プログラム「第2回 キャリアについて考える」参加レポート

この度、研究者リーダーシップ・プログラムに参加する機会を得られ、大変嬉しく思います。名古屋大学に着任して二年目の私にとって、本プログラムは非常に貴重な学びの場となりました。研究者としてのキャリアがまだ浅い私には、先輩研究者のキャリア設計方法やワーク・ライフ・バランスの実現方法に強い関心がありました。また、研究者としての生き甲斐や挫折への対処法についても学びたいと考えており、本プログラムへの参加を希望しました。

今回は菊池先生と財津先生から「キャリアについて考える」をテーマに、貴重な経験談を共有していただきました。普段はなかなか聞くことのできない、先輩研究者の率直な体験や考えを聞くことができ、大変有意義な時間となりました。特に印象に残ったのは、タイムマネジメントの重要性です。大学での多様な業務をこなすには、効率的な時間管理が不可欠であり、重要度と緊急度を考慮したタスク管理の必要性を再認識しました。自身の経験を振り返ると、実験、教育、事務作業など様々な業務に追われ、肝心の研究に十分な時間を割けていないことに気づきました。また、研究生生活で直面する困難を乗り越えるためのモチベーション維持の方法についても、前向きな思考を保つこと、周囲のサポートを大切にすること、そして時には新しい環境や活動に挑戦することの重要性を理解しました。これは、私自身が研究で行き詰まりを感じた際に、特に参考になる視点でした。

今回の研修を通じて、研究者としてのキャリアに対する理解が深まりました。キャリア設計やワーク・ライフ・バランスの実現には個人差があり、一律の解答はありませんが、先輩方の経験談や他の研究者との交流を通じて、自分なりの答えを見出す糸口を得ることができました。今後も学びを続け、自分に合うキャリアを積極的に形成していく所存です。

(陳達徳・名古屋大学大学院工学研究科 助教)